

長野・上田

「共謀罪」許さん行進

3野党と市民が連帯



市内をパレードしアピール
ル4日、長野県上田市

長野県上田市で4日、「共謀罪」許さん緊急大集会が開催され、上小（じょうしょう）地域から400人が参加しました。主催は、9条の会や1000人委員会・上小などの市民団体や労働団体などをつくる実行委員会。青木義民太鼓の演奏で開会し、実行委員会代表の滝澤修一弁護士は「国会と私たち市民が力を合わせて廃案にしよう」とあいさつしました。

3野党が連帯あいさつ。日本共産党の井上哲十参院議員は、治安維持法に反対し殺された労働党代議士、山本宣治氏を紹介し「最後に山宣が訪れた上田の地から、現代版治安維持法の廃案の声を大きく」。民進党の羽田雄一郎参院議員は「多くの市民の後押しがなければ廃案にできない。共に歩もう」。社民党長野県連合の石合祐太氏は「私たちの手にある憲法を生かして、運動をさらに」と訴えました。

集会では成澤孝人信州大学教授が発言。リレートークでは中学校教諭などがスピーチし、ママの会メンバーはラップでもアピールしました。窪島誠一郎無言館館主のメッセージが紹介されました。安保法制（＝戦争法）が問題になるまでは政治に無関心だったというママは「私に関係ないでしょ。テロ防止だから」という人に一番わかかってほしい」と語りました。

集会后、参加者は「共謀罪は絶対反対」などとコールしながらパレード。車から手を振っての声援がありました。